

あーち通信

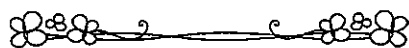
★「よる・あーち」紹介

「よる・あーち」が、移転後の新生あーちに登場しました。「居場所づくり」「学習支援」「子ども食堂」を合わせたプログラムです。「子ども食堂」では灘区連合婦人会の方たちと連携するなど、「子育て支援をきっかけにした共に生きるまちづくり」を具体化する活動になります。毎週金曜日の夕方から夜に実施しています。4時～8時「居場所づくり（遊び場）」5時～8時「学習支援」6時～7時半「子ども食堂」です。このプログラムへの参加のしかた、利用のしかたは、「よる・あーち」のチラシやウェブページなどをご参照ください。

パパママセミナー参加者募集！

去年11月～今年1月に生まれた赤ちゃんの保護者の方へ

5月から12月までの毎月第2土曜日に（8月は休み）、お子さんの発達に応じた親としてのあり方・かわり方を学んでみませんか？パパの参加を歓迎します。あーちでチラシをご覧ください、直接お申込みください。なお、中・高校生や大学生との交流の時間も設けています。みなさまの子育て経験を彼らに伝えていただければ嬉しいです。



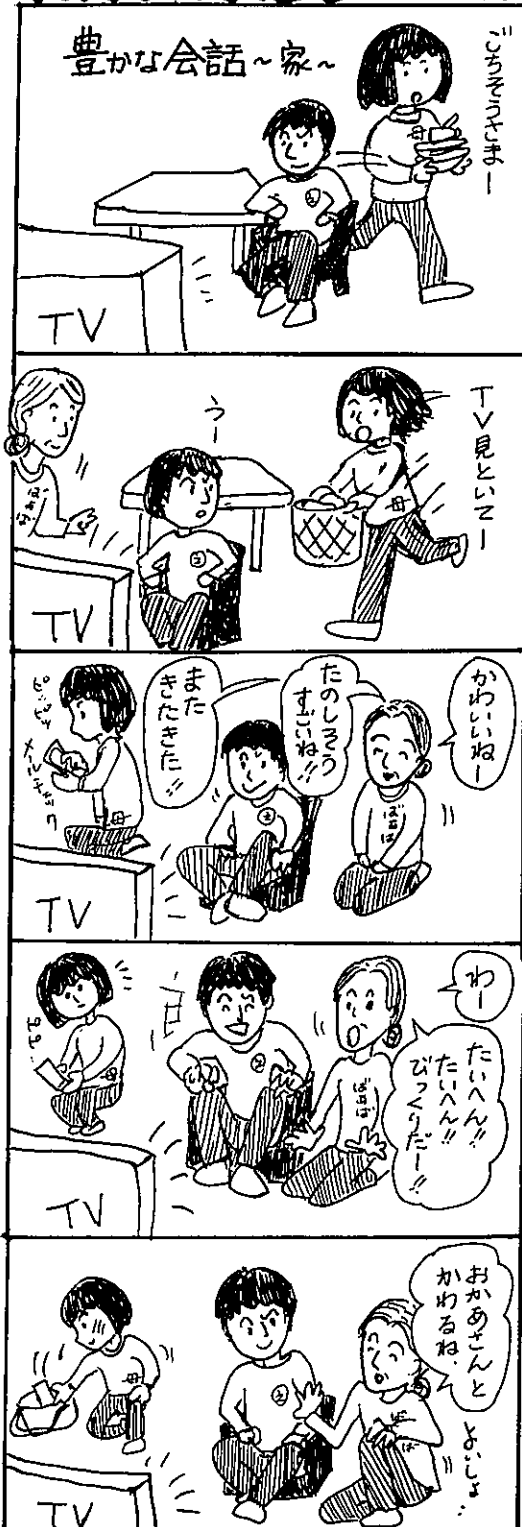
アメリカの歯医者さんで、歯の掃除をしてもらいました。アメリカの医療保険を使って約33,000円。高すぎやしませんか、と思い、乳がん検査の費用を聞くと、なんと、マンモグラフィーは、医療保険を使って無料、エコーは状態に応じて施され、医療保険を使って、4,000円くらいです。あれっ？日本と違う！これにはショックでした。しかし、アメリカでの医療保険の支払いは、非常に高いです。しかも、例えば、イリノイ州で医療保険に入っている、違う州ではその医療保険が有効ではないのです。それは、ぼったくりじゃないですか？と辛らつな言葉が浮かんでしまいます。

アメリカでは、病気にはなれないと思います。いや、どこにいても健康第一ですね。

（アメリカ イリノイ州在住 東口たまき）

2017年5月号 Vol.140

えんじゅる君Ⅱ by Bon





5月予定表

		こらぼ・あーち	ふらっと・あーち
1	月	休	館
2	火	あーち人形劇団「むー」企画会議 1時30分～	おひさまひろばあーち（午前中）
3	水		
4	木	休	館
5	金		
6	土		
7	日		
8	月	休	館
9	火		
10	水	ほのぼの音ランド 11時40分～	
11	木	親子のびのび体操 11時～12時 筆をもとう 1時～2時30分	ベビーマッサージ（はいはい）11時～
12	金	おりがみ遊び 4時～ よる・あーち 4時～8時 居場所づくり(こらぼ) 4時～ 学習支援(ふらっと、ゆーす) 5時～ 子ども食堂(ほっと) 6時～	
13	土	0歳児のパパママセミナー&中・高生の赤ちゃんふれあい体験（午前中／予約制）	
14	日		
15	月	休	館
16	火	あーち人形劇団「むー」企画会議 1時30分～	おひさまひろばあーち（午前中）
17	水	パパ・ママほっと(予約制) 10時30分～12時 あーち通信編集会議 1時30分～ あーち連絡協議会 3時～	
18	木	ピーナッツ10時30分～12時 あーち♥ビギナーズ交流会（予約制） （6か月未満のお子さん）1時30分～3時	ベビーマッサージ（ねんね）11時～
19	金	アートセラピー4時～5時 よる・あーち 4時～8時 居場所づくり(こらぼ) 4時～ 学習支援(ふらっと、ゆーす) 5時～ 子ども食堂(ほっと) 6時～	
20	土	ぼっとらっく（予約制）	
21	日		
22	月	休	館
23	火		おひさまひろばあーち（午前中）
24	水	きまぐれライブ 1時・3時	おしゃべりほっとタイム 11時～
25	木	筆をもとう 1時～2時30分	
26	金	よる・あーち 4時～8時 居場所づくり(こらぼ) 4時～ 学習支援(ふらっと、ゆーす) 5時～ 子ども食堂(ほっと) 6時～	
27	土	おはなしの国 1時30分～2時 音楽の広場 2時30分～	おもちゃ病院 27日（土）1時～3時 ゆーす・あーち にて
28	日		
29	月	休	
30	火		おひさまひろばあーち（午前中）
31	水		

・**太字のプログラム**は今月の特別プログラムです。

・予約制以外の、どのプログラムも参加（見学）することができます。年齢制限はありません。

・「アートセラピー」は汚れてもいい服装でご参加ください。

・ベビーマッサージにご参加の方は、バスタオルを1枚お持ちください。

・「ふらっと」は16時30分より整理整頓の時間とさせていただきます。



プログラム案内

アートセラピー・・・自然素材や絵の具、粘土など様々な素材に触れながら、体全体で創作表現します。
おはなしエプロン・・・絵本の読み聞かせ。絵本の楽しさ、美しさをお伝えします。
おはなしの国・・・ろうそくが灯ったらおはなしの世界のはじまりです。(絵本の読み聞かせ)
おひさまひろば・・・灘区内公立保育所の保育士さんによる親子体操や手遊び、歌やお話など。
おもちゃ病院・・・壊れたおもちゃを修理します。
音楽の広場・・・参加型の演奏、おはなしなど、音楽を通してさまざまな人々が出会う場にしていきます。
ビギナーズ交流会・・・生後6か月頃までの赤ちゃんとお母さんのための交流会です(予約制)。
筆をもとう・・・書の初歩から学びます。気軽に楽しく書に親しみましょう。小学生以上～おとな対象。
ベビーマッサージ・・・バスタオルと赤ちゃんの飲み物(お茶、母乳など)を持参してください。
ほのぼの音ランド・・・音楽療法士による季節のうたや楽しいリズム遊び、楽器遊び。
めだか親子クラブ・・・身近な材料で、ぶんぶんゴマや竹とんぼなどの楽しいおもちゃを作ります。
よる・あーち・・・「居場所づくり」「学習支援」「子ども食堂」を一緒にしたプログラムです。
らくがきおばさんがやってきた・・・何を描こう?何を作ろう?みんなで自由にアートを楽しみます。



<ふらっと相談員> ～お気軽にお声をかけてください～

火曜 午前 保育士
水曜 午前 NPO法人マザーズサポーター協会(第4水)
地域活動支援コーディネーター(不定期)
木曜 午前 助産師(月2回)
地域活動支援コーディネーター(不定期)
全日 助産師/保育士(11:00～16:00)
土曜 午前 助産師(第2土)

あーちのルール

☆オムツやゴミはお持ち帰りください
☆託児はできません
☆就学前のお子さんが遊ぶときは、保護者の付添いが必要です
ルールを守って楽しくすごしましょう!



絵本の世界へようこそ



四季の絵本「はるですよ」

作：柴田晋吾
絵：広野多珂子
出版社：金の星社
発行：2010年2月



『いちご』 平山和子 文・え 福寿館書店 1989年4月発行

「こんにちは はるですよ」という言葉とともに、山や海やたんぽぽなど、色々なところに春がやってきます。春の訪れに、生きものたちは動き出し、あたたかい自然が広がります。色鮮やかな春の風景がページいっぱいに描かれ、春ならではのやさしさを感じながら読み進めることができます。

今まで知らなかった新しい春の姿を見つかるかもしれません。細かく丁寧に描かれる動物や植物を見つけながら、親子一緒に楽しめる絵本です。

(神戸大学 発達科学部 人間形成学科 めめ)

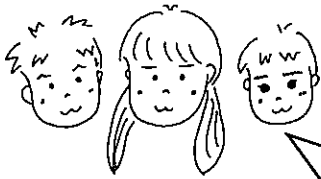
みんな 「いちごかしら いちご」。
「いちごのみは あたたくらななりおよ」(枝より)
春を育ててくたがある人は知っていると思いきやが
寒い冬を越さなければ 出来ないんですね。
ページをめくるたびに 葉・つぼみ・花・数
変化していく姿が季節を感じて色で描かれていますよ。
「いちご おおきくなったね」「おどろいちゃういちごです」
「いちご あまくなったかな?」「もうちいさあ、あけたはも、あかくも、
あまくなりまう」 人の気持ちと春のメッセージのやりとりが
よくわかる。子どもと一緒に育ててみたくなってしまうのでは?
春、収穫する葉を食べていくと、他のものも、お知りきかけが
できたり 食育にもつながっていくと良いですね。



森家

二十六通目「小5女子は大変なのです」

みのり



長女さん：ピアノを習い始めました、小5
まんなかくん：いい加減自転車に乗れるようになりたい、小2
三番目：ママに怒られた時の言い訳「だって僕未来から来たから知らん」、4歳

新年度が始まりひと月が経ちました。長女さんにとっては、クラス替えで初めて同じクラスになった子のことも、「だいたいこんな子かな？」とイメージができてきた頃かと思います。女子にとって「小5」は大変な年であると認識しています。それはズバリ「友達関係が難しくなる時」だから。小4の時もグループができて、くっついたり離れたりを繰り返していましたが、さらにややこしくなるといいでしょう。複雑に絡み合った人間関係の悩みは、中学になっても高校になっても、残念ながら大人になっても続いていくものです。

女子は「変化」に敏感です。「ちょっと違う」と思ったら、それが優れている部分であってもグループからはじく原因になったりします。リーダー的存在の子のさじ加減で、クラス内の居心地がよくなったり悪くなったりを繰り返します。長女さんは振り回される方かな？考え方や行動が正しいとか正しくないとかではなく、「いかに同調できるか」で動く人間関係なので、「こう振る舞えば絶対はじかれない」なんて方法はないのです。

「あなたは間違っていないから」「意地悪な子は放っておきなさい」「そんなグループに入っても仕方ない」「理解してくれる子がいるよ」「優しい子と一緒にいたら？」大人のアドバイスはもっともなことばかり。でも、昨日まで普通に話していた子に無視をされ、休み時間に自分の席から動けず、ただひたすら、楽し気な笑い声を背中で聞いているその時。水の中でもがくような苦しさに、そんなアドバイスは効かない。悩む長女さんを見ていると、過去の自分を見ているようで、ママも一緒に苦しくなります。

そう、長女さんに知ってほしいことは「ママもそうだった」ということ。「長女さんの気持ちがわかるよ」ということ。しんどい思いをした日は、我慢せずに言ってほしい。忙しくてもちゃんと聞くことを約束します。学校で気が張ることが多かった日は、ママとゆっくりした時間を過ごして、リフレッシュしよう。その後で余裕が出たら、「明日は学校でどうするか」の作戦会議を開こう。やり過ごすのがいいのか、先生に相談するのがいいのか、その子にどんな感じで話しかけたらいいのか、細かくシミュレーションしてみよう。どうしても大変な時は、学校を休んだっていい。

ママには今大切な友達が数人います。大人なので、お互い生活があって、会う回数は少ないけれど、一緒に時間を過ごしたいなと思える人が数人います。今までの人生、たくさんのクラスメイトや一緒に時間を共有した人はいたけれど、結局今は数人です。でもその数人の友達とのやり取りで、ママは満足しているし幸せを感じています。

「小5女子」の大変な時期に、どうしても伝えたかったママからのメッセージでした。



草々